

会議録

会議の名称	加東市農業再生協議会
開催日時	平成29年11月9日(木) 午前10時00分～午前11時9分
開催場所	加東市役所2階 201会議室
<p>議長の氏名 (副会長 山本正仁)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><出席委員></p> <p>吉田秋広(代理)、山本正仁、國井久明、末廣義隆、小林敏和、藤原正幸、山口真一、神戸洋一、新谷裕亮、竹内孝和、上中一也、山本力</p> <p><委任状出席></p> <p>佐之瀬敏章、岸本清昭、西村徳男、岸本光、田中孝英</p> <p><欠席委員></p> <p>畑谷紀美子、友藤富士子</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿農政局 兵庫支局 総括農政推進官 有政尚彦 ・近畿農政局 兵庫支局 主任農政業務管理官 内橋充代 ・加西農業改良普及センター 普及主査 植木城作 	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造部長 藤川憲二 ・農林課長 柏木和博 ・農林課主幹 西山英希 ・農林課主事 入江幸 ・みのり農業協同組合 営農部長 竹内千博 ・みのり農業協同組合 東条営農経済センター長 平川嘉一郎 	
会議結果及び資料名	
発言者	会議の経過／発言内容
	<p>1 会議結果</p> <p>(1) あいさつ (吉田副市長 (代理))</p> <p>(2) 議長の選任</p> <p>○山本副会長を選任</p> <p>(3) 議事録署名人の選任</p> <p>○末廣義隆氏、小林敏和氏を選任</p> <p>(4) 協議事項</p> <p>①加東市地域農業活性化ビジョン (案) について</p> <p>○事務局から説明</p>

委員	<p>【質疑応答】</p> <p>全ての結びに、支援します、推進しますと並んでいるが、本当に市として推進できるのか。</p>
事務局	<p>加東市の総合計画との整合をとって記載しており、10年後の具体的な取り組みを書けないところがあります。また、農業施策においては各関係機関との連携が必要であり、市単独で事業を進めるという部分ではできるところ、できないところが出てきます。具体的な取り組みは各事業の中で取り組みますので、全体的にはビジョンでは、支援する、推進するという書き方となります。</p>
委員	<p>文書だけで終わるのではなく、農業のために市がリーダー役になって関係機関を巻き込んで取り組んでほしい。若い人は農業をしませんし、500万などかけて機械を買う時代でもありません。遊休地がたくさんできると思うので、地域や地区内で農地を守れる組織を作っていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今、委員さんが言われた通り、担い手が育成できない状態です。団塊の世代が退職してまた次アルバイトへ行く、そういう状態で高齢化する中で、ぱっと作業することができない。農業委員会でパトロールをしますが、遊休農地等がだんだんと増えてきています。そういう中でこういうビジョンを皆さんにどう伝えられるか、そこが一番大事だと考えています。若い人はそこまで考えていません。そういう中で担い手育成はできないと感じております。</p>
議長	<p>委員さんの言われるように、若い方は関心がない部分もあると思いますが、実現するよう市、農協など含めて取り組まなければならないと思います。</p>
委員	<p>農業委員会では認定農業者を承認していますが、認定農業者は、自分の集落の耕作で手いっぱいになり、他の耕作地は手が付けられない状態です。</p>
委員	<p>108ページのアンケートにあるように個人では限界があるから、集落営農を進められないかとの意見がありますが、小さい集落営農を維持するのも大変な時が来るので、広域的な組織にしなければと思います。私も集落営農をしていますが、当初は営農に入らない人が1年、2年過ぎたら入りたいと言われる。個人で農業をされている人もいますが、農機具代などお金がかかるので、特に若い人などは農業をしません。ただ、農地を手放すことができないので、それを手助けしようと地域内で話が出て、なかなか集落営農に持っていけないと思うのですが、こういった原因が多いのか聞かせてもらえないでしょうか。</p>
事務局	<p>人・農地プランや集落営農の立ち上げなど地区に説明に行かせていただきますが、自分で田んぼができるという方もあり、集落内の意思統一が難しい状況や、強いリーダーシップをとる方が出てこないため一歩踏み出せない、といったところがあります。ただ集落営農には、農地の貸し借りを調整するだけの集落営農、機械の協同利用だけの集落営農、いろんな形があるため、集落に合った形でスタートしていただき、最終的には、耕作もし、法人化を進めるなど段階を踏んだ組織化を進めていただきたいと考えています。</p> <p>また、アンケートの94ページにありますますが、設立が難しい理由で一番多かったのは、個人の事情が優先し地域がまとまらない、2番目にリーダーがいない、3番目に担い手がないという回答になっており、このあたりの原因が大きいと感じ</p>

	<p>じています。そのため、集落営農の組合長さんなど、いろんなハードルを越えて組織を設立された方の思いが聞ける場をつくり、新たに集落営農を作りたいという地区の参考にしていただけたらと考えます。</p> <p>それと、麦、大豆などの二毛作を作られるところは集落営農を立ち上げやすい条件にありますが、二毛作が難しく山田錦だけの地域などは、地域的に共同作業という形であっても取りにくい状況もあるようです。アグリ香寺など、個々の営農組織が合併し、200ヘクタールを管理している組織がありますが、将来的にはこういうことを目指さなければいけないと考えています。</p>
アドバイザー	<p>先月、市と一緒に集落営農に関心がある集落へ行かせてもらいましたが、農会長さんや代表者の方は村の総意を重視され、一部の方が賛同されないと動けないと思われる、と感じました。村の総意がないとできないではなく、空いてくる農地を守っていくための準備として営農組織を立ち上げていきたいと思いますという話をしました。先行して営農を組織した場合でも、後から入る人に門戸を広げ入ってもらったら結構ですし、半数以上の賛同が得られれば十分設立できると話をさせてもらいました。村の農地は個人の財産ですが、村の環境そのものでもありますので、代表者さん等の立場で環境を守るという意味でも、営農組織の立ち上げが必要ではないかという話もさせてもらいました。</p>
委員	<p>委員さんの意見にもありましたが、現世代と若い世代の差が大き過ぎて、リタイアされたときに次の世代の方を守る組織が無い状態ですと、それこそどうなるかわからないので、村の農地の現状がわかっておられる現役世代の方に、セーフティネットとして今、組織を作ってほしいとお話ししました。</p>
委員	<p>最初の質問に戻りますが、推進しますとか支援しますとか書いてありますが、施策内容など、本当に全てできるのかなと思います。そこで、加東市では特にこれに力を入れるというところを示していただければ、より解決の道が分かりやすく見えてくるのではと思いますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>ただいまのご意見を反映しまして、重点的な取り組みの部分をお示しするよう検討したいと思います。</p>
委員	<p>あと、やはり市が予算を付けてくれないかと思っています。営農組織を設立するにはどれほどのお金がいるか。何千万円というお金を集落から借りて組織を設立しました。賛成が多くてもお金があるかどうか。市は法人化したらある程度出すけど、集落営農だけなら余り出ない。市に言うたら国ができないからとかでは進まないと思います。</p>
事務局	<p>集落営農の運営ではお金がかかりますし、所得が向上しないと継続しないことは理解しています。そこは、産地交付金などございますので、交付金の分配などを検討していきたいと考えています。予算については、ビジョンとの整合を図りながら検討していきますが、ビジョンの中に記載のとおり、国、県の事業などを活用して支援してまいりたいと思っております。</p>
委員	<p>よく、農業で食べていけないという話が出ますが、夢や希望があつてこそ人は集まると思います。私は介護の世界にいますが、介護の世界は、厳しい割には給料が安いと言って皆やめていく。日本では人が集まらないので、海外で学校をつ</p>

事務局	<p>くり、勉強をした海外の人が日本へ入ってくる、それがうまく行っている状態です。子どもに農業しろと言っても採算がとれない中、守ってきた土地だから押し付けるといってもできませんし、これから先食べていけないことをできるはずがない。営農組合や集落で農業をやっておられるのは高齢の方ばかり、それで育成といわれても先が見えない。再生協議会という割には発展的な意見が出ない。起爆剤みたいな何かを見つけて発信していかないと、会議をしても先が見えないと思います。私の地区も農業をやめる方がおられますので非常に困っています。アンケートでも10年間できるという方がいらっしゃいますが、病気をしたら誰がするのか、生活に余力のある方は良いが、一生懸命農業をやりたい方は不安が大きいと思います。機械が一齐に潰れる時期であればみんな集まろうかとなりますが、機械はあるけど運転する者がいない方、人も機械も大丈夫な方など、アンバランスな状態で集まることができないのが実態です。ただ、今回のアンケートを参考にさせていただき、一度声を掛け、一歩踏み出さないと発展もないと思っていますので、再生協議会の中でも夢を持てる話題が欲しいと思いました。</p> <p style="text-align: center;">【その他質疑なし】</p> <p>本日のご意見を反映させたものでパブリックコメントを行い、次回の再生協議会でパブリックコメントの意見を反映したビジョンの案をご審議いただき、市へ答申を行います。その後、農会長会でビジョンの配付と、農家の方へのダイジェスト版の配付も予定しています。また、お気づきのことがありましたら、後日で結構ですので、ご意見いただけたらと思います。</p> <p>(5) その他 平成30年産以降の作付けについて ○事務局から説明</p> <p style="text-align: center;">【質疑等なし】</p> <p>(6) あいさつ (藤川部長)</p> <p>2 資料名</p> <p>(1) 加東市農業再生協議会 総会資料 (2) 加東市地域農業活性化ビジョン (案)</p>
-----	--

平成29年 12月 22日

議長 山本正仁

署名人 岸本清昭

署名人 小林敏和